

古畑種基 ふるはた ねんき 法醫學者。明治二十四年六月十五日三重縣生れ、昭和五十年五月六日歿（二八九—一九七五）。號龍南。大正五年東京帝國大學醫科大學卒。金澤醫科大學、東京帝大、東京醫科齒科大學各教授を歴任。昭和十八年「血液型の研究」を帝國學士院恩賜賞受賞。戰後、帝銀事件の毒物鑑定、下山事件などは死後驟斷他殺説を主張した。二十一年文化勳章受章、二十五年警視廳科學警察研究所所長。

著書に、『血液型』（昭和二十年四月、二十日生活社「日本叢書」）、『法醫學叢記』（昭和二十四年一月、二十日筑紫書房）、『犯罪の科學』（昭和二十五年八月十五日弘文堂「アーチエス文庫」）、『法醫學の語』（昭和二十二年九月、二十四日岩波書店「岩波新書」）、『法醫學ノート』（昭和二十四年一月、一日中央公論社）、『今だから話そう』法醫學敎諭語（昭和二十四年七月十五日中央公論社）、『血液型の語』（昭和二十七年十月、二十日岩波書店「岩波新書」）等。

